

教材と教師用手引書 あります!!

これさえあれば、事前指導も、現地での指導も、事後指導も大丈夫!

EX.1) 児童生徒用「尾瀬の宝を探そう!」の使い方 →手引書P.9

フキに似ている植物で、ハリブキといいます

燧ヶ岳の裏を通る登山道

表紙の写真の撮影場所

平野家の墓があるヤナギランの丘

木道を歩きながら、見つけた花をチェック

行きは沼が最初に見える場所、帰りは沼との別れの場所

積雪に埋まったオオシラビソの下枝が、融雪時に引っ張られてできたものです

右の楕円のような形の木をさがしてみよう

トイレタイムをとる

木道の橋の部分に、敷設年やこれを敷いた県などが略号で表示されています

木道のいろいろ

木道を注意して歩くこと

尾瀬ヶ原に流れて行く川

右側通行一列

ミズバショウは花が終わると葉が大きくなり目立ちます

ミズバショウをさがそう!

トイレあり

EX.2) 学習活動例 →手引書P.26

毎年、尾瀬で環境学習を行っている堀之内小学校の実践を、時系列に沿って詳しく紹介しています。事前、事後学習例も掲載しています。

時刻	内容
7:30	尾瀬沼原区に出発 ○忘れ物がないか最終確認 ○お昼ごはんを食べて出発
8:00	三平下着・休憩 ○トイレ休憩 ○尾瀬沼原の自然観察 ○三平村へのルート解説
8:15	三平下着 ○群馬県側の数々の自然観察 ○尾瀬沼原の自然観察 ○カマヤシ(カマヤシ)の観察 ○オオシラビソの観察
9:00	小沼原の観察 ○尾瀬沼原の植物と風景からの眺め
9:30	小沼原・休憩 ○到着した野原から休憩 ○お昼ごはんを食べて、記念撮影 ○トイレ休憩(トイレの使い方を指導) ○沼原周辺の観察とスケッチ

EX.3) 安全・安心のために →手引書P.33

自然体験学習で最も気を遣うこと、それは児童生徒の安全確保です。また、尾瀬には貴重な自然を守るためのルールとマナーがあります。教師用手引書は、これらのことを丁寧に解説しています。

帽子
つばのあるもの。風に飛ばされないよう紐を付け服に固定しましょう。

ザック
肩ひもが細いものを避け、背中にフィットするもの。

シャツ
長袖でボタンで留められるものが適しています。

手袋
薄手で柔らかいもの。軍手が重宝する。

下着
速乾性のものが適しています。

くつした
厚手のものがよい。

長ズボン
速乾性の長ズボンが望ましい。膝にゆとりのあるものが適している。

運動靴
履き慣れたもの。その厚いものが望ましい。

Download Service

<http://www.uonumakara.com/>

「魚沼から行く尾瀬」のWebページです。

教師用手引書やワークシート等は、ダウンロードしてご利用いただけます(加工もO.K.)

魚沼から 検索

クリック!

「魚沼から行く尾瀬」 環境学習プログラム

本プログラムは、豊かな心とたくましい実践力を育てます!

Feel 感じる

雄大な自然の中で、生命の息吹を感じる。尾瀬にいる。ただそれだけで感動です。



Think 考える

開発と自然保護の歴史。脈々と続いたゆめ努力。深く学び考える素材がここにあります。

Realize 実感する

自然との調和を図りながら生活すること。子どもたちは、奥只見～尾瀬で行う体験学習を通して、その大切さと難しさを実感するに違いありません。

